

豪華客船入港でマルシェ



港ゆったり満喫

宇野港で20日、豪華客船「スターレジェンド」(9961ト)の初入港に合わせマルシェ(市場)イベントが開かれた。秋晴れの下、市民や外国人乗客ら約3700人(主催者発表)が飲食やイベントを楽しみ、港の雰囲気を楽しんだ。

イベントは地元のNPO法人UNOICHI実行委員会が開催。優美な船体が接岸した第1突堤に37の出店が並び、無農薬野菜と無添加調味料を使った料理などこだわりの商品を提供した。香川県・豊島の産業廃棄物処理問題について学ぶ岡山大の学生は、豊島産ミカンのイメージ回復に向けて「豊島みかん」を販売した。

外国人乗客と交流

玉野高生は、写真を収める木枠に貝殻などを貼り付ける「フォトフレーム作り」のワークショップを開き、子どもたちの人気を集めた。同校と交流のある宇和島東高(愛媛県)の生徒も参加し、外国人の名前を漢字の当て字で色紙に書いて贈るサービスが好評だった。

色紙をもらった英国人のジョーディー・ブラマルトさん(29)は「日本人と触れ合い、文化を体感できてうれしい。ゆったりと良い時間を過ごせる玉野を、機会があればまた訪れたい」と笑顔で話した。日が沈んだ午後6時、スターレジェンドが汽笛を鳴らして出港すると、岸壁に集まった人たちは手を振り、名残を惜しんだ。(民直弘)



玉野高生(右)と一緒にフォトフレームを作る子ども。木枠に貝殻を配し、お気に入りの写真立てに仕上げた



外国人の名前を漢字の当て字で色紙に書く宇和島東高生。スターレジェンドの乗客を喜ばせた



豊島産ミカンを販売する岡山大の学生。UNOICHIのイベントに初出店した